

授業科目名	データベースⅡ データベース演習	※必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	選択科目／教科に関する科目（情報）					
サブタイトル	Access（リレーショナルデータベースと SQL）	担当者	大即 洋子			
講義概要	<p>【概要】 本講義では、リレーショナル型のデータベースソフトウェアである Microsoft 社の Access によるデータベースの構築を通して、リレーショナルデータベースのしくみやデータの格納、抽出、集計など基本的な知識の習得を目的とします。同時に、リレーショナルデータベースを操作するための言語として広く利用されている SQL（Structured Query Language）も学習します。</p> <p>【到達目標】 リレーショナルデータベースの理論的背景、標準問い合わせ言語である SQL、プログラミングとの連携について理解する。</p>					
履修条件	PC の ID とメールアドレスが利用可能であること データベース論の単位を取得していること					
教科書・参考書	<p>【教科書】 『Microsoft Office Access 2007 〈基礎編〉 セミナーテキスト』 日経 BP ソフトプレス（2010）</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	単元・内容					
1	Access の基礎					
2	データベースファイルの作成					
3	テーブルの作成と操作方法					
4	クエリーの作成と活用方法					
5	フォームの作成と編集および設定方法					
6	リレーショナルデータベース					
7	データベース言語とは（SQL の構造と文法）					
8	SQL（データベースとテーブルの定義・レコード読み出し）					
9	SQL（データの検索・並べ替え）					
10	SQL（レコードの登録・更新・削除）					
11	SQL（グループ分類・関数を使った集計）					
12	SQL（サブクエリ）					
13	SQL（結合）					
14	総合演習（1）					
15	総合演習（2）					
評価方法	最低限、講義回数の 2/3 以上の出席が単位取得の必須条件となります。					
評価基準	毎回の授業で行う演習課題を全て締切期限内に提出した場合は A、提出期限に遅れた課題が 3 つ以内であれば B、提出が遅れたが全て演習課題を提出した場合は C、それ以外を D 評価とします。					
その他	※Eカリキュラム（法学・スポーツ法）コースの学生は選択科目					